

# 令和5年度 学校評価報告書

長崎市立式見小学校

## 1 教育目標

四気満ちて笑顔の花咲く学校  
 ○やる気：自ら進んで勉強する子・学力の向上を目指す学校  
 ○こん気：粘り強く努力する子・美しく静かな学校  
 ○げん気：元気に運動する子・健康で安全な学校  
 ○ゆう気：優しく思いやりのある子・子どもの笑顔があふれる学校

## 2 学校経営方針

長崎市第五次総合計画及び長崎市教育方針に則り、学校・家庭・地域が一体となって、児童に“四気”を育み、新たな時代を切り拓くための生きる力を身に付ける教育活動を推進する。特に学校においては、授業を通して確かな学力を、集団生活を通して、心の力を、運動や活動を通して体（耐）力を児童一人一人につけることを使命と捉え、全職員一丸となって、式見だからできる、式見らしい教育活動に取り組む。

## 3 重点目標

○やる気：複式授業を中心とした授業改善、基礎学力の定着、学習規律の徹底、ふるさと学習の充実  
 ○こん気：目標を持ち、最後まで頑張る態度の育成、明るくあいさつ習慣、心を磨く清掃指導の徹底、心を整える後片付け  
 ○げん気：運動に親しみ、継続して体力づくりに取り組む子どもの育成、よりよい生活習慣の確立、健康安全教育の充実・推進  
 ○ゆう気：一人一人のよさを伸ばす学級経営の充実、温かい心を育む環境整備、異学年交流で育てる思いやりの心の育成、読書活動の推進

## 4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児童生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	100	100	100	○教育目標、学校の雰囲気について「児童・保護者・教職員」すべての方に100の肯定的ご意見をいただいた。これからもこのようにいい状態を維持継続できるようにしていきたい。 ○組織運営は、88%ではあるが、表の一番下にある「働きやすい職場の項目」では、肯定的意見100%の評価がある。働きやすい職場ではあるが、今後も協働的な組織体制の構築に向け、職員と共に改善を図っていきたい。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	100	100	100	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			88	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			100	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	97	91	100	○多くの項目で、昨年度より高評価となっている。中でも、生活指導において保護者の評価が10ポイント高くなっている項目がある。学校や地域での児童の落ち着いた生活態度を好意的に受け止めていただいた結果と捉えている。 ○「あ・は・は運動」に関する指導は、校舎、教室内にポスター掲示をし周知したことが改善につながっている。
		挨拶をよくしている	100	94	100	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	89	94	100	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	97	100	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	97	97	100	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	100	97	100	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	100	89	100	
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	100	97	100	
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	100	100	100	○家庭学習は、大きな課題である。 ○ICT機器を取り入れた学習を導入しているが、その過渡期に於ける課題ととらえる。家庭学習において、キュービナ等を利用した学習が増えていることで、書く課題が減っている。学校としては、保護者へのICT機器活用の学習効果などを周知していく。またICT学習のバランスを取り学力向上を目指していく。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	100	97	100	
		家庭学習の習慣が身に付いている	93	74	88	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	100	100	100	
長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである		100				

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	93	100	100	○昨年度より改善がみられる。生活リズムを整えることは、確かな学力を付ける上で基礎になる重要な部分である。今後も定着に向けて家庭と協力し、強化を図る。 ○体力向上に関しては、体育の学習を中心とし、遊びや普段の生活の中で運動の習慣化を図り、生涯スポーツとして運動が身近なものになるよう指導を行う。
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的な生活習慣)が身に付いている	91	100	100	
		体力向上に努めている	93	94	100	
	食育	食に関する教育活動を行っている	89	97	100	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	96	97	100	○コロナ禍を経て、地域行事が再開され、学校・児童・教職員が可能な範囲で、協力したことにより、全体的な数値の向上が図られたものとする。 ○PTAとの相互協力体制においては、100%の肯定的ご意見をいただいた。今後も協働作業を通して連携を深めていきたい。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	96	97	100	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	98	100	100	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			100	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	98	91	100	○校舎や運動場遊具やフェンス等の老朽化は、顕著であり、安心・安全のための環境整備は重要な課題となっている。市教委施設課と連携して改修等計画的に進めていく。また毎月の安全点検においても、修理・補修を確実にしていく。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			100	

## 5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

○教育目標、学校の雰囲気について「児童・保護者・教職員」すべての方に100の肯定的ご意見をいただいた。これからもこのようにいい状態を維持継続できるようにしていきたい。

○家庭学習は、大きな課題である。学校、PTAと協力し、家庭学習への課題について共に進めていく。

○校舎や運動場遊具やフェンス等の老朽化は、顕著であり、安心・安全のための環境整備は重要な課題となっている。市教委施設課と連携して改修等計画的に進めていく。また毎月の安全点検においても、修理・補修を確実にしていく。

○「あ・は・は運動」に関する指導は、校舎、教室内にポスター掲示をし周知したことが改善につながっている。

○保護者からの学期始めの荷物の持参についてのご意見については、時間割等の配慮をして対応を検討していく。

## 6 学校関係者評価

○教育環境の中で、職場環境について職員回答は、肯定的評価が100%であり、職員間のチームワークがよいことが伺える。職員が協力しながら教育活動に取り組んでいることが、学校評価の全体的な児童の教育への好影響の数値として出ているのではと感じる。

○PTAより：確かな学力において、自主的な家庭学習実施の数値が低いことについては、家庭でも努力していく課題でもある。

○PTAより：PTAや地域組織との相互協力体制について、ポイントが高くなっており嬉しく感じる。

○携帯電話使用について、子どもたちはどんどん使い慣れていくため、保護者も利点や問題点等を学び、子どもと向き合っていくことが大切である。

○12/8実施のPTA主催ファミリープログラムは、親子参加で実施。子どもが入ると場も明るくなり、多様な意見が出た。親子の生の声を聴くことができ相互理解の一助になった。

○小規模校の良さを強みにしていきたい。

## 7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

○ほとんどの項目で、肯定的な割合が高い結果が得られた。このことは、小規模校の良さを生かした学校経営の結果、保護者の学校への理解や協力が進み、学校と保護者間の信頼関係が深まってきていることの表れであると考えている。しかし、「家庭学習」の項目においては課題が残っている。家庭学習の意義やその内容(質と量)についてPTAの意見を聞きながら、協力し改善を図っていく。

○今回の結果は、児童や保護者からの学校への信頼と、今後への期待という認識で前向きに捉えていく。保護者やPTA組織、地域と連携し、良い評価については継続発展を目指し、改善が必要な項目に関しては、組織として対応できるようにし、校内のPDCAサイクルを充実させ、その成果を学校・家庭・地域で共有する。小規模のよさとまとまりの強い地域性を生かし、式見の教育力を高める教育活動を今後も展開していく。